



第25号

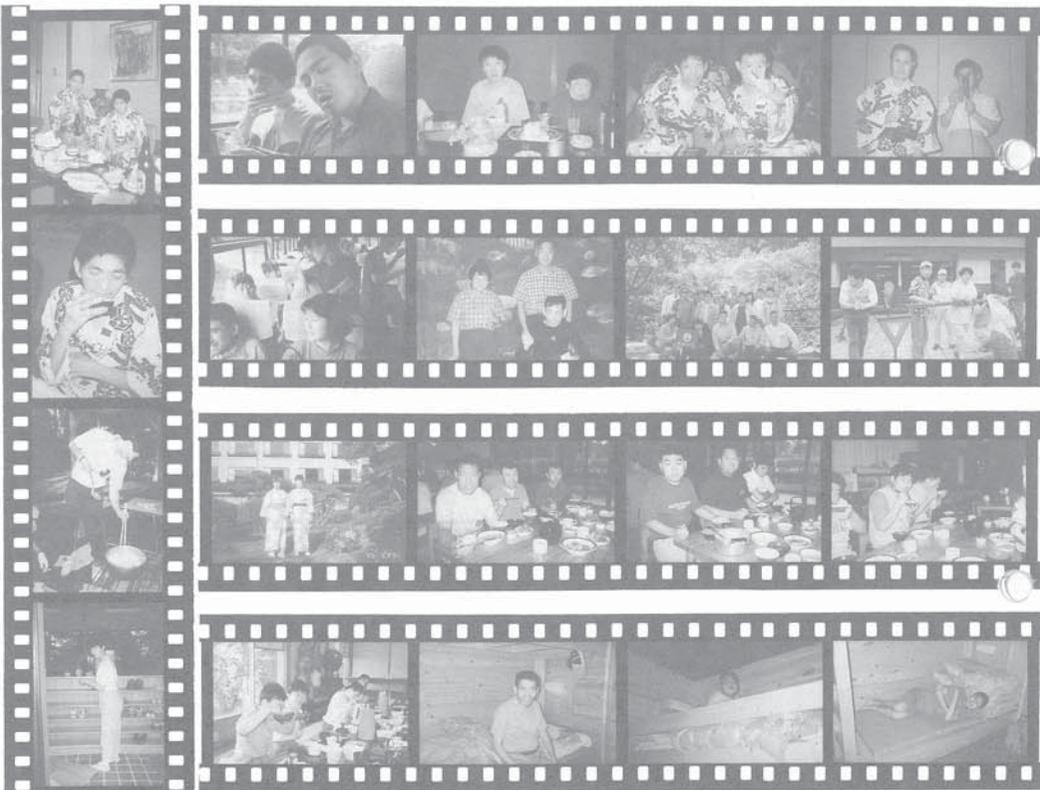
発行/社会福祉法人素心会 素心学院
責任者/彦坂 健一郎
〒259-01 神奈川県中郡大磯町虫窪24番地
TEL.0463-71-1255番

表紙 '95年オプション旅行写真館

- 温泉旅行① 伊豆長岡
- 温泉旅行② /
- キャンプ 山中湖
- ホーム組旅行 北海道

特集

- 「素心学院の外出を考える」 P 2, 3
- 虫窪24番館
「学院だよ全員集合」 P 4, 5
- コーヒータイム
「タブーについて」 P 7
- 「家族ペンリレー」 P 8



ボランティア活動への LA・PORTE

「障害のある人やお年寄りに優しい町は、すべての人に対しても優しい町である。」

私たちと共に福祉を考え、支え、参加して優しい町づくりを目指しませんか

会費は 個人 年一〇1,000円です。
団体・会社 10,000円
会員には新聞「そしん」が郵送されます。

その他にも、運動会や納涼祭ボランティア等様々な活動に参加を促します。後援会では、会員がご無理のない、いろいろな協力や御力のかけがえをしております。

① 銀行振込は
中興信用金庫 国府支店 14-079896
本店 011-0303045
横浜銀行 大磯支店 651-1029212
さがみ信用金庫 大磯支店 024-0036335

② 郵便振替は
どこの郵便局でも00270-0-19507です。

③ 口座名は
「素心会後援会」
※新しく会員になる方は、ご住所を電話等で知らせていただくようお願いいたします。

〒259-01 虫窪24番館
事務局 神奈川県中郡大磯町虫窪24番地
素心学院内 ●担当 投野/新藤
TEL.0463-71-1255 0463-73-0009

〈現在会員数〉 **350**名

理事会の動き

◇第13回理事会報告
平成6年11月19日(土)に、藤沢の「魚万会館」にて開催された理事が出席し、次の通り審議、決定されました。
(1)平成6年度第一次補正予算について、法人・施設・ホームのそれぞれ別の会計とも原案通り承認されました。
(2)グループホーム(つばきホーム)の開始届けについて、国の制度としての手続きをとることが決定致しました。
(3)慰労関係について、単身者の墓地等の確保を目的として関係者により(仮)墓地管理委員会を設立する為、法人からも準備担当者を派遣する事について決定されました。
(4)報告事項として平成5年度監事運営の報告があり、また施設運営の現状についての発表が行われました。

◇第14回理事会報告
平成7年3月18日(土)に、藤沢の「魚万会館」にて開催された理事が出席し、次の通り審議、決定されました。
(1)平成6年度第二次補正予算について、法人・施設・ホームのそれぞれの会計とも原案通り承認されました。
(2)平成7年度事業計画及び法人・施設・ホームの予算について原案通り承認されました。
(3)社会福祉法人素心会給与規定について、給与表の全面的見直しを中心とした一部改正案が審議され、原案通り承認されました。

◇第15回理事会報告
平成7年5月27日(土)に、平塚の「グランドホテル神奈中」にて開催された理事が出席し、次の通り審議、決定されました。
(1)平成6年度事業報告及び法人・施設・ホームの各会計決算について、審議され原案通り承認されました。
(2)平成7年度第一次補正予算について、ボイラー交換工事の実施に伴う、法人及び施設会計予算の補正について審議され原案通り承認されました。
(3)社会福祉法人素心会定款の改正について、定款準則の改正に伴う変更と、グループホームを第二種社会福祉事業として記載する事を中心とした改正について原案通り審議、決定されました。
(4)報告事項として施設運営の結果、後任に総務部長、彦坂健一郎を充てる事が決定されました。

理事の紹介

(理事長) 遠近 教英
(正) 神奈川厚生協合理事長 大正13年8月2日生横浜市長在任
(理事) 伊藤 敏雄
(顧問) 伊藤 敏雄
昭和5年4月30日生川崎市在任
(理事) 柳田 直雄
相模国総社六所神社 宮司
昭和20年10月1日生大磯町在任
(理事) 坂田 泰二
橋工業(株) 役員
昭和23年10月6日生藤沢市在任
(理事) 望月 郁文
(社福) 小田原愛児園 園長
昭和15年11月5日生
(理事) 佐藤 昭二
淑徳大学社会福祉学部 教授
昭和2年2月8日生横浜市長在任
(理事) 守水 英輔
淑徳大学国際コミュニケーション学部 教授
昭和10年2月8日生藤沢市長在任
(理事) 中山 昇
(社福) かながわ共同会栗野精華園 園長
昭和8年1月2日生横浜市長在任
(理事) 彦坂 健一郎
素心学院施設長
昭和24年7月6日生大磯町在任
(監事) 大坪 龍雄
大坪会計事務所 所長
昭和3年7月25日生鎌倉市長在任
(監事) 河内 智恵子
(社福) 翔の会 理事長
昭和18年12月16日生
茅ヶ崎市在任



感謝しております！
「ありがとう」の「ナー」
◆神奈川県共同募金からの配分金により、給湯、暖房ボイラーが新しくなりました。総工費四百五十二万六千八百五十円のうち三百一十萬円の補助をいただき、八月に交換工事が終了しました。この冬は快適に過ごせています。
ありがとうございます。
◆故熊田美津子さんのご遺族より、院生の皆さんと御寄付をいただきました。熊田さん思い出せるような物やガウン、テーブルとベンチを購入しました。春の暖かいうちには熊田さんがよくそうしていたように、みんながこの場所へ陽向ほっこをするのでしよう。早いもので熊田さんが亡くなってからもうすぐ2回目の春です。
ありがとうございます。
*二宮町在任の牧島殿様より手作りの竹籠を頂いております。丁寧に綺麗に編み上げられた竹籠は、販売に出すとすぐ売れてしまいます。いつもありがとうございます。

◇第16回理事会報告
平成7年5月27日(土)に、平塚の「グランドホテル神奈中」にて開催された理事が出席し、次の通り審議、決定されました。
(1)平成6年度事業報告及び法人・施設・ホームの各会計決算について、審議され原案通り承認されました。
(2)平成7年度第一次補正予算について、ボイラー交換工事の実施に伴う、法人及び施設会計予算の補正について審議され原案通り承認されました。
(3)社会福祉法人素心会定款の改正について、定款準則の改正に伴う変更と、グループホームを第二種社会福祉事業として記載する事を中心とした改正について原案通り審議、決定されました。
(4)報告事項として施設運営の結果、後任に総務部長、彦坂健一郎を充てる事が決定されました。

編集後記

◆親友と久しぶりに長電話をした。近況報告と近い将来の予定、悩み事の相談に昔話をお互いに十年來の距離を確かめながら、話は延々と続いた。現実的な話をしているのだが、会話を交わすうちにすっかり高校生に戻っている様だった。「おかあちゃん!」受話器の向こうから可愛い声がとびこんできた。「はいはい」と同時に母に戻る親友。私も頑張りなやと色々思ふ。(池田)

◆新年度が始まる。やりたかった事、やらなければならなかった事、をみんな置きざりにして、別れ、と、出会いはある。大好きだった人とも大嫌いだっただりあえず笑ってはいられないのです。私と何にも関係なくたって大嫌いな人でも、怒っているよりは、泣いているよりは、春です。泣いて。(長谷川)

◆ついでこの間初夢を見ておせちを食べたと思ったら、あれよあれよと節分、ひな祭り、きた。ひな菓子は買ったけれど桃の花はまだまだ、急いで用意しなければ、と思っただけなのにうら箱の中に入っていました。もう少し外出してあげたい気もしたが、早くしまわなければと後々困ることがあるらしい。名ごりおしいが、しかたのない事。(水島)

虫窪24番地

富山のお酒に素心という銘柄があつて画家の佐々木杜六氏がわざわざ買ってきてくれた。その銘酒素心を後援会の方々に紹介していたら、そもそも素心の意味は何だと聞かれ、恥しいことにきちんと答えられず調べてみた。素心学院は25周年誌「素心のあゆみ」には創立者で初代理事長の故・坂田渉氏が植物の園から素心の名をとったとある。
「素心」という園・池田書店「めずらしい野生蘭」によると、素心という蘭の状態が紹介されている。蘭は植物の中でも高度な進化を続けており、結果として花葉、茎に様々な個性が表れるという。その個性の一つで、全体に白・黄緑だけの色を持つ蘭が素心と呼ばれる。他に葉に糸のような細かい縞が入ったものを糸縞、一つの花の中に小さい花が集って咲くものを子宝咲きなどと呼び、シランの糸縞、シランの子宝咲、セッコクの素心といった具合に、通常その種が持つ性質に別の個性が加わることが蘭の魅力なのだと言う。純白の花の中央に緑の唇弁が鮮やかなセッコクの素心花が写真で紹介されていた。坂田氏は育ててくれた蘭が、純白の素心花を咲かせた時の美しさ、喜びに素心学院を重ねられたのだという。純白の素心花、実物を見てもみたくなった。(萩原三)



素心学院 祝 25号

ザ・全員集合

平成7年12月17日(日) 撮影

テーマ

素心学院の タブー

★院生にとっての「タブー」とは、一体何だろうと考えてみた。それは、職員室に入る事ではないだろうか。確かに院生から見れば職員室は、何か、素晴らしい場所であり、な魅力あふれる場所である。しかし自由に入れない。

ここには、話相手になってくれたり、大好きなジュースのお金ももらえる職員がいる。その職員たちが楽しそうに話をしていて、時時頂き物のお菓子も置いてある。

職員室はいつも院生が気になる事、好きな物が集まってる場所である。ドアのガラス越しに見つめる目はそれらに注がれ、期待がいっぱい詰まった瞳になっている。

まさに院生にとって、禁断の実が豊富に実る魅惑の園だろう。

しかし、職員サイドからすれば魅惑いっぱいの職員室はデスクワークをする場所であり、休憩をする場所でもある。時には現金を必死に数えている。

職員が入りする隙間をぬって入ってくる人。ドンドンとドアを叩いて職員を呼び、ドアを開けた瞬間に体を入れて、大きな声で叫んでいる人。ドアが開いていて、まるで用事でもあるかのような素振りが入ってきて、職員にちょ

っかいただして出ていく人。そして、怪盗よろしく夜中に何処からともなくこっそり職員室に現われて、お菓子を食べて出ていく人など、作戦は人それぞれ。

このように「タブー」を犯そうとする勇氣ある面々は、不安と希望に胸をふくらませ日々努力を続けている。

職員室がもっと自由に出入り出来たら……と考えるが、現実的に職員室のドア一枚、院生や職員の精神衛生や管理面のバランスをうまく保っているのを見ると、素心流も、まあいいか、と思う。

ただ、職員も職員室で安穩とばかりしてられない。まだまだ他にある素心学院の「タブー」に、院生のように勇敢に挑戦していかなくてはならない事か。いやそれを言うなら禁止事項だろう。禁止されている事といえば夜10時過ぎ

……。(浅見 茂)

★素心学院のタブーとは何か？ タブーといえはしてはいけない事か。いやそれを言うなら禁止事項だろう。禁止されている事といえば夜10時過ぎ

が誰かに似ていると言われるのは、何となくじれったいものである。だからこそタブーなのだ。

私はタブーを破ってしまった。タブーは一度破るとはまるものだ。

他にドリフに似た人はいますか……。(中西彦彦)

★タブーとは？ 辞典で調べてみると神聖なものとして禁制されること、またそのもの、その社会での禁句と書いてある。さて素心学院においての神聖なものとしてあげてまつられているのはいくつもの人頭かな？ その重厚かつ洗練された頭をビタビタとたたかやがらがる。院生の人ではない。職員で、だ、い、く、ら無礼講な飲み会とは言え、た、い、したものだ。その場、一応は笑うのだがその時冷たいものが背中からおしりにかけて流れていくのが感じられた。タブーが破られた瞬間である。あ、どうしよう書き直してしまっ。やっぱり書き直そう。自分にはもう書き直す余裕などない。この原稿が発表される次の日に僕の机がある事を知っている。ア、メン、さて院生の人達にとってタブーとは何なのだろうか？ やはり、それはいけない事それは礼物を取ってしまう事ではないか。男子の人は物に濃厚な方が多く自分の服など他人が着ていても何とも思わない人が多いが食べ物となるとちょっと違ってくる。Sさんなどはそれこそ他人のものは自分の物、自分の物は他人の物という感じで大変おらかな人だがさすがに目の前で食べ物を誰かが横取りされるから動こうとはせず、目でこちらにうつつたえかけているのがひしひしと伝わってくる。やはり食べ物というのは大きな物なわけです。

その昔アダムとイブという二人の男女が禁断の実を食べ、神様が大変おいらに……という話がある。素心学院における禁断の実とは何だろうか、それは良くわからないが、院生の人達の気持ちは無視してしまう事ではないだろうか、これだけたかさんの人がいれば一人一人の事を考えるのは限界がある。無視しようとして無視しているのではない。しらないうちに禁断の実をつまみ食いしてしまっているのかもしれない。つまみ食いをしたかとなつと気付いた時それをすぐはき出し実をくっつけるのも良いがどうせならそれを一度食べてしまえば自分の栄養にしバラバラをつけ、パワーがたっぷり木を植えた皆さんの幸福な実を作ってあげられたらいいなと思う。もう

限界だ。私にこういう原稿を書かせる事それがそもそもタブーである。(土井直樹)

★素心学院のタブーについて書いてくれと言われても、私は難しいものがある。私にとって素心学院は、わからないことが多過ぎるからである。

つらつら考えとって、「素心学院で大阪弁はタブーになるよるか」を題にして書いてみるよるか決めました。ずつと大阪におったんで、大磯は未知の世界よつたらかな。

素心に行くゆうた時皆に言われたんが、「三日で大阪弁なんか忘れたんで」とか、「大阪弁なんかついたらいっぺんではかにされて、ちゅうけつたいな励ました言葉やうた。けど言葉のちやう中で暮らしてみ、身についたもんが三日で抜けるもんや無い事に気がついた。半年経つても、「何ゆうたんのお」とか、「えらいことやわあ」とか言うところからなあ。

素心で働き出た、大阪弁しゃべつてくるあて、自分も感心した場面思ひ出してみる。帰る思て玄関におつて、「明日来るの」と言われて、思わず「くんで」てゆうた自分作業員時に「これするの」と聞かれた、「せんでええ」とゆうたのに続けて同じ事しえるの見た時、「〇〇さん明日来る」て尋ねられて、「きはら

へんでえ」ゆうたけど、「はあ？」て聞き返された時。考えれば結構あるもんで。話は変わるけど、大阪弁はいえり下品や思てはる人大勢いてはるかもしれへん。そやけど全然そないなとあらへんで。言い様によつては丁寧な言葉やと思ふ。一例(これは「れい」やのうて、れい)て言う「あける」と、れいな人は「せんでええ」てきつう言いはるけど、年いっただんながは「せんでええよ」てゆつくりゆうてくれる。そんなん聞いたら、えらい優しい響いて安心すんねん、顔見て話してつたら、微妙なもんが伝わつておもしろいねんけど、字にして並べてまうと、おもしろいことがわからへん様なつてまうんは勿体無いわあ。

ついでにこんなんはどうやろ。「ええ加減にし。こんなもん書いてええと思つてんのお。ふざけとつたらあかんでえ。」

大阪弁、タブーになるやろか。やめえ言われたくないしよ。しゃあない思てくれはるやろか。

こんだけ読みづらいもんやねんから、「そしん」紙上で大阪弁は、タブーになるはずや。ついでに、うちに原稿頼むんはのうなるはずや。(船本淑恵)

一九八三「そしん」が発行されて十三年、二十五号という節目にペナリレーのパートが私に渡されました。

常ならば娘芳子の生い立ちか芳子と家族を書くところですが、施設長と保護者会役員といった立場ではありましたが二十九年間お付き合いして頂き、いろいろな学ばせて下さった田代先生に感謝の号とさせて頂きます。二十数年前、私の最初の印象に残った事、それは田代さんが児童施設の職員として保護者との話し合いに臨んだ時のこと。椅子を丸く並べ皆と目が合う円卓会議式で、話を進められた。施設長になられた。多人数で物理的に(無理)平等で良い感じと思つたものでした。施設長になられた。多人数で物理的に(無理)平等で良い感じと思つたものでした。

さて、その昔全盛だったドリフタビズのカトちゃんやハゲ頭、チヨビビゲにピンクのネグリジエで踊るダンスが確かタブー、そのドリフにA・チューというコメディアンがいた。彼は何かの理由でドリフを抜けてしまったが、その後編として入った志村ケンの活躍は知つての通りである。

最近そのA氏はトンとテレビで見ることが無くなったが、何と素心にいたのである。……。

私には彼の顔が好きだ。彼はKさんの事だと同じ顔なのでこの際どちらでも良い。人気者の顔なのだ。しかし自分

シングにもきわめてクール。ストレスはほどで発散していったのでしょ。それがインド行き今年のお母様の年賀状に。〇〇(院生の名前)が素心に入れた事を感謝してそして素心を誇りにおもつております。と書かれてありました。我家の新聞の年末の社説に「ライゼンションの文字を見て素心はとくに部分的ではあるけれど根づいている「素心」が好き」それがこの年賀状の文面になったのだと思ひました。院生のお食事の例にとれば時にバイキングあり、牛井、てつか井、天井を院生の好みてチヨイス出来、お刺身、鍋物(調理場の方に感謝)晩酌、コーヒ、Aホテルでのクリスマス、旅行、キャンプ、今若い人が中高年が楽しんでる事を院生にも同様にして下さる。学院。心やさしい職員の皆様本当にありがとうございます。

家族penリレー 授産2班 高木昌子

ありがとうございます、田代さん

一九九六年新春

【後援会コーナー】

前号に引き続きまして、「會員になつて下さい」という呼びかけの為役員の方に登場して頂きました。年会費は一口千円です。よろしくお願ひいたします。

 <p>水澤 孝幸 (株)モスト企画 役員 大磯町在住</p>	 <p>鈴木 七郎 鈴鹿損害保険事務所 (大東京火災海上保険代理店) 平塚市在住</p>	 <p>末村 光介 社会福祉法人 かながわ共同会 薬野精華園課長 大磯町在住</p>	 <p>井上 義秋 ICイノウエ (家電販売店) 代表取締役 二宮町在住</p>
--	---	---	--